

2021年度 事務局だより

NO.14 (通算 NO22)

2021・12・20

一般社団法人

示現会

- 一般出品者のお誘い
- 研究会に参加を

裏面 ○<特集>巡回展の紹介

いよいよ、2021年も終わります。
なかなか普通の生活に戻れず、いろいろ大変な1年でもありました。ただし、示現会としては74回の示現会展が実施でき、それに合わせて巡回展もほぼ予定通り実施できました。皆様のご協力に感謝いたします。

今回の十四回で今年度の事務局だよりは二一年度年度最終号となります。

思いがけないコロナ感染が始まり、いろいろな行事は実施できなくなりました。

示現会として、最大の行事となる、国立新美術館での七十三回示現会展が中止となり、地方における巡回展も中止となりました。

外に出かけることもできなく、人と会うこともままならない中で、示現会としてやれることはないだろうかと、という模索の中で、井上事務責任者の提案で、この「事務局だより」の発行が決まりました。

今、示現会は、何をやっているのか、示現会に所属している人たちの動向は、支部の動きは、と皆様にお知らせしてきました。

少しでも示現会が身近に感じられ、示現会の仲間、絵



一年間ありがとうございました ございます

を描く仲間として一緒という意識を高められたのなら、この「事務局だより」は、お役に立てたのではないのでしょうか。

初めはコロナがおさまれば、このたよりも、必要ないかな、とも思われました。しかし、二年にわたって発行が続き、今回で通算では、二十二回目の発行となりました。

まだまだ、コロナの終息は先のことです。次年度も引き続き皆様のもとにこの便りを届けるようになるのかな、とも思っています。

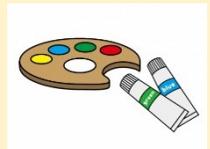
この便りが、少しでも皆様の示現会とのつながりにお役に立てることを願い、この一年の愛読を感謝いたします。

たの全国のお知らせをお知らせし、楽しい記事をお待ちください。

一般出品者のお誘い

皆様の身近に絵を描いている方はいませんか。そのような方がいましたら是非、示現会展の出品をお誘いください。大きな絵が無理ならば、30号から受け付けていますので、その大きさから始められてもよいと思います。30号の場合は、出品された作品が会場内で、しっかりと鑑賞してもらえるように展示いたします。

地元の絵画団体などに所属している方でも出品を歓迎いたします。また、初出品者を対象に、「新人奨励賞」の授賞もあります。示現会に出品する仲間を増やしましょう。1月、2月にはリモートでの研究会があります。そこには、どなたでも参加できます。新しく出品される方も大歓迎です。



リモート 研究会に参加を！

示現会展に向けての作品研究会を1月、2月の2回にわたり実施します。この研究会にはどなたも参加できます。講師は成田理事長はじめ、鈴木、井上、中川、佐藤、錦織の常務理事が担当します。参加の方法は、制作中の作品を、写真に撮り、送ります。(スマホで撮り、それをプリンターもしくは、印刷できる店舗で印刷します。できれば、葉書大がよい)写真と一緒に返信用の封筒を同封します。もし、聞きたいことがあれば、書いてください。皆様のもとには作品を印刷した用紙に、講師の言葉を書き入れて送り返します。講師の言葉をそのまま聞きたいという方は、USBのメモリーを同封します。ということで、難しくはありません。一度見てもらいたいと思われる方はぜひ検討ください。1月間に合わない方は2月にどうぞ！

2月作品研究会 2月20日(日)
*作品締め切り 2月14日(月)

わからないことがありましたら、事務局に電話(だてい)。ホームページにも研究会の案内があります。

75周年記念展に向けて 今後の予定

1月 9日(日)	新年会	中止
1月 16日(日)	リモート作品研究会	
1月 23日(日)	発送業務	
2月 15日(火)	会計監査、理事会	
2月 20日(日)	リモート作品研究会	
3月 8日(火)	通常総会	(紙上)

特集1

巡回展は残すところ1月の石川支部になります。其々の巡回展はコロナ禍でもあり、準備を含め非常に厳しい状況でしたが、支部のみなさん、また地域の方々の協力でそれぞれ素晴らしい展覧会が開催されました

巡回展報告

長岡展

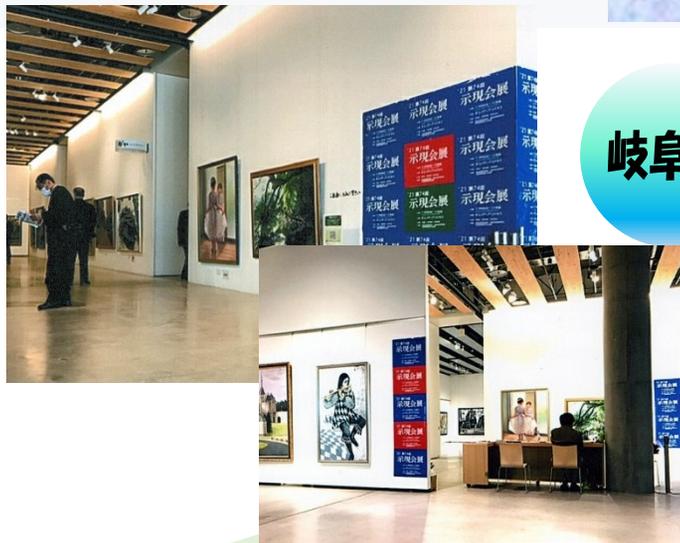
10月10日～16日に長岡市美術センターで支部員の作品展示と併設して巡回展は行われました。

コロナ禍で楽しみにしていた長岡の大花火大会は今年も2年連続で中止になり、その他いろいろなイベントの中止、延期のある中、本展覧会は地域の閉塞感打破への一助になったと思います。

本部から成田禎介理事長を迎え、前日の飾付レイアウトの確認の指導を仰ぎ、展覧会開催初日での講評は、各支部員に良い勉強の機会となりました。来場者の方から、久しぶりに大きく素晴らしい絵を鑑賞できてよかったと言ってもらえ、1000人を超える入場者を数えた良いイベントになりました。

支部員全員でコロナ感染に十分注意して、準備、開催、片付けと無事終わることができました。

新潟支部 会員 柳瀬 拓



岐阜展

巡回展を終了して

74回展はコロナの影響で開催が危ぶまれていたところ本展に続き当支部の巡回展も開催でき、安堵しております。

会場も、ぎふメディアコスモスで4日間短いながら岐阜の展覧会ファンの方々に見ていただくことができました。入場者数も1850名と、この時世なら可とすべきです。コロナ禍がなければもっと気楽に大勢の来場があったと思います。

次は75回の記念展です。素晴らしい作品が数多く発表されることを期待し岐阜支部も頑張っております。ただ内情を考えると高齢化、病気、体力の低下、経済力など不安な要因がいっぱいです。鑑賞者の方も従来からの常連の減少などがありますが、内容のあるより良い作品を制作し、記念展の成功を祈念しております

岐阜支部 支部長 山田裕彦

第74回示現会巡回福井展を終えて

当支部の巡回展は、去る12月1日から5日までの期間で開催しました。大きなトラブルもなく、無事終了できましたこと、関係いただいた皆様方に感謝とお礼を申し上げます。

搬入日には成田理事長の手際よい指示をいただき、手狭な会場でしたが、見事に巡回展作品と支部員作品で隙間なく埋め尽くすことができました。

この巡回展と同時開催として、県内の美術愛好者や学生を対象とした公募展「第8回若越美術展」も同時開催としました。会期中、来観者から『この示現会巡回展を待っていたんや。具象絵画はいいね』と言われたことなど、たいへん有りがたく、次回開催へ心新たにしているところです。

福井支部 支部長 内藤利博

福井展



受賞者のみなさん

75回記念展に向けて準備進行中



12月5日<発送業務>

三密回避策として人数を絞り更に1階と2階に別れ10時から夕刻まで皆様のもとに会誌はじめ応募用紙などの発送作業を行いました

11月27日<システム会議>

資料作成、入力関係の「ヤマト運輸」、会場設営の「東美」、印刷担当の「六光社」と各係の班長による展覧会実施に向けて改善、効率化の検討会議を行いました。



示現会のいろいろな案内はホームページに掲載されます。ぜひご覧ください。

